

【平成 28 年 3 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

静岡県商工会連合会

静岡県商工会連合会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 28 年 3 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

記

1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 28 年 3 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 38 商工会（うち 38 商工会より回答）【回収率 100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）**【3 月期の産業全体の業況 DI は好転したが製造業のみ悪化】**

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-21.3（前月-23.5、前年同月-18.6）で、前月と比べ 2.2pt 好転した。10 業種中 5 業種で好転を示した。小売業では、生鮮野菜の動きが活発化してきた事、サービス業では、行楽の季節や卒業シーズン、季節の変わり目等により、宿泊関連や洗濯業の業況が堅調であった事が好転の一因と考えられている。

【製造業】

業況は-17.6（前月-9.7、前年同月-11.4）と前月と比べ 7.9pt 悪化した。機械金属業では、中国経済の低迷により、機械部品の輸出が減少したとの報告が寄せられた。

【建設業】

業況は-15.8（前月-26.3、前年同月-7.9）と前月と比べ 10.5pt 好転した。公共工事に関しては地域によりバラつきがあるが、年度末で駆込み需要がある、新築・リフォーム等需要が増加している、一人親方の若者が増えているとの報告が寄せられた。

【小売業】

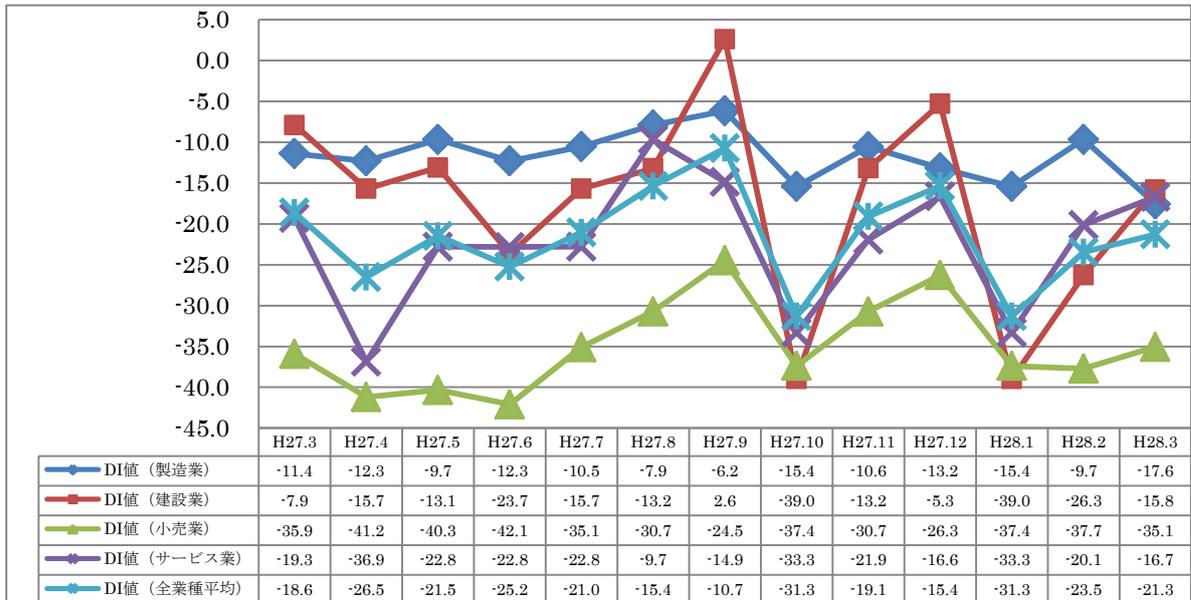
業況は-35.1（前月-37.7、前年同月-35.9）と前月と比べ 2.6pt 好転した。食料品については、店売りは減少しているが事業所への卸売りについて増加して来ている、衣料品については、春物が売れ始めたが、売上は例年より下回っている、耐久消費財については、住宅リフォームに関連し電化製品の買換えがあったとの報告が寄せられた。

【サービス業】

業況は-16.7（前月-20.1、前年同月-19.3）と前月と比べ 3.4pt 好転した。旅館業では、地域によりバラつきがあるが、気温も温かくなり宿泊客も増えている、洗濯業では、個店の差はあるが、春物コートなどの需要が出始めたとの報告が寄せられた。

3 本調査に関するお問合せ 静岡県商工会連合会 経営管理課 TEL054-255-8080〔担当：池谷、吉本〕

＜平成 28 年 3 月期 業種別業況 DI 推移表＞



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属製造業)

- ・食料品製造においては、事業主の高齢化に伴い、売上は伸びない。(伊豆)
- ・持続化補助金、ものづくり補助金等もあり、設備投資の動きがみられる。(中部)
- ・繊維関係では横ばいである。(中東遠)
- ・車関係の仕事がかなり薄いのが現状である。(西遠)

【建設業】

- ・事業所の決算内容において、好不調がはっきりしている印象である。(伊豆)
- ・民間もリフォーム、新築の受注が多く、人手不足感がある。(富士駿東)
- ・売上額が若干増加であるが、ほぼ前月と同じ様子である。(中部)
- ・受注が公共工事中心の会社は、前年を上回る利益を確保している。(西遠)
- ・市内で、公共工事の駆け込み需要が見受けられた。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・衣料品は、春物にかわったが、気候不安定の為、春物の動きは鈍い。(中部)
- ・食料品は、売上は前年より減少傾向。店舗によってばらつきがある。(中部)
- ・4月から一部の商品が値上がりすることもあり、やや売上が増加している。(中東遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・河津桜の影響で、町内宿泊事業所は、比較的入込み客数が多かった。(伊豆)
- ・洗濯業は、旅館関係からの受注が増加している。(伊豆)
- ・理美容については、常連客は来店するも新規の客は殆どなく徐々に売上減少となっている。(中部)
- ・卒業シーズンで、歓送迎会などの需要により、例年並みを維持出来ている。(西遠)

小規模企業景気動向調査(平成 28 年 3 月期)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-21.1	-15.8	悪化
売上	-7.9	-10.5	増加
仕入単価	26.3	26.3	不変
採算	-10.6	-15.8	好転
資金繰り	-13.2	-13.2	不変

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-15.8	-13.2	悪化
売上	-13.1	-15.8	増加
仕入単価	2.7	0.0	上昇
採算	-7.9	-7.9	不変
資金繰り	-10.5	-5.3	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-15.8	0.0	悪化
売上	-18.5	0.0	減少
仕入単価	5.3	-5.3	上昇
採算	-10.5	-5.3	悪化
資金繰り	-10.5	-7.9	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-15.8	-26.3	好転
売上	5.2	-13.1	増加
仕入単価	13.2	10.5	上昇
採算	0.0	-21.0	好転
資金繰り	-23.7	-23.7	不変

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-42.1	-39.5	悪化
売上	-31.5	-34.2	増加
仕入単価	2.7	10.5	低下
採算	-23.7	-26.3	好転
資金繰り	-28.9	-26.3	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.5	-39.5	好転
売上	-18.4	-28.9	増加
仕入単価	26.3	26.3	不変
採算	-13.1	-34.2	好転
資金繰り	-21.1	-28.9	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-31.6	-34.2	好転
売上	-18.4	-26.3	増加
仕入単価	15.8	15.8	不変
採算	-26.3	-23.7	悪化
資金繰り	-26.3	-21.1	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.3	-13.1	好転
売上	5.3	-13.2	増加
仕入単価	18.5	15.8	上昇
採算	2.6	-5.3	好転
資金繰り	-10.5	-23.7	好転

9.洗濯業

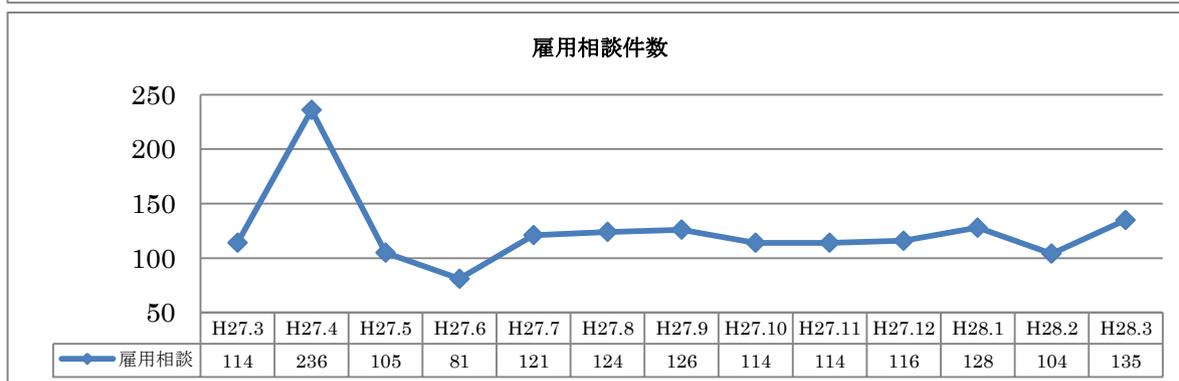
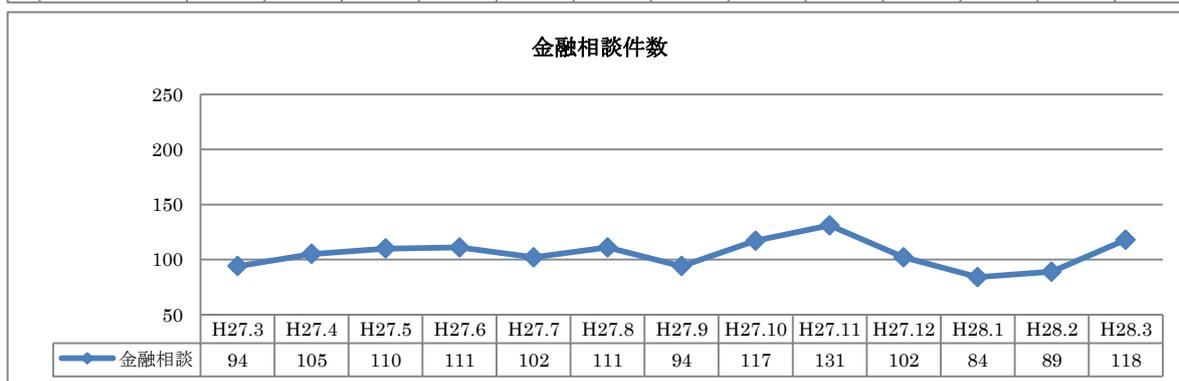
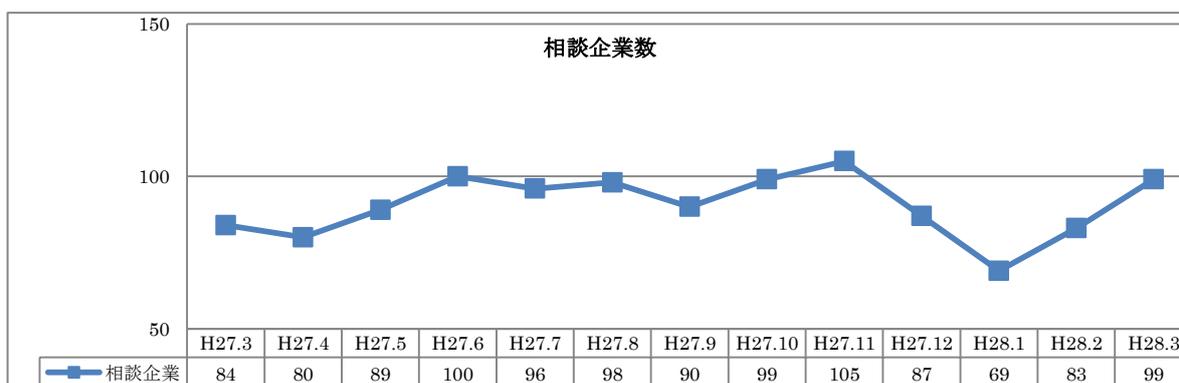
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.3	-31.5	好転
売上	-7.9	-18.4	増加
仕入単価	-5.3	2.6	低下
採算	-5.2	-7.9	好転
資金繰り	-7.9	-10.5	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-18.5	-15.8	悪化
売上	-18.4	-13.1	減少
仕入単価	-2.7	2.7	低下
採算	-5.2	-10.5	好転
資金繰り	-13.2	-10.5	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(平成 28 年 3 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	99	83	16
【金融相談件数】	118	89	29
新規融資（借換えを除く）	59	54	5
既存債務の借換え	50	24	26
借入れ条件変更	3	4	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	6	7	-1
【雇用相談件数】	135	104	31



【金融相談】

金融相談件数は、118件と前月(89件)に比べ29件増加した。相談内容については、借入れ条件変更、その他が減少し、新規融資(借換えを除く)、既存債務の借換えが増加した。

<経営指導員コメント>

- ・月々の返済が大変ということから、条件変更の相談が続けてあった。(伊豆)
- ・相談2社のうち1社がマル経融資(運転資金)を申し込み、推薦実施。(富士駿東)
- ・決算確定申告を行った後に資金繰りを分析し、設備投資や運転資金の借り入れ相談に発展するケースが多かった。(中部)
- ・資金繰りが悪いことによる融資相談が増えている様な感がある。前向きな資金は少ない。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、135件と前月(104件)に比べ31件増加した。労災保険加入についての手続き、離職に関する相談、雇用保険の取得と喪失の相談があった。解雇に関する相談、問い合わせが目立つとコメントしている地域があった。

<経営指導員コメント>

- ・今月の雇用の相談は離職に関する相談が4件、新規採用の相談は2件だった。年度末ということもあり、先月より動きがあった。(富士駿東)
- ・建設業、旅館、介護関係で人手不足感がある。(富士駿東)
- ・年度末の為か、従業員の資格喪失の手続きに関する相談が多かった。(中部)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・「第18回みなみの桜と菜の花まつり」(2月10日～3月10日)の入込み客数は、21万5千人で、2年ぶりに20万人台を回復。前年比約10%増となった。まつり全体を通し、年々、中国や台湾からの個人客が増えている印象である。(伊豆)
- ・持続化補助金の効果により、前年比200人増の旅館もあった。(中東遠)
- ・持続化補助金申請を目指した、経営計画作成セミナーを4月に実施する。(西遠)
- ・観光協会や関所周辺自治会等で行った観光事業「牡蠣小屋」。着地型観光の試みとして4年連続で行ったが、昨年に引き続き予想を上回る誘客が出来た。(西遠)